



# TOKYO 2020

東京2020 第34回理事会 資料

## 決議事項

---

資料1-1 事務局規程等の改正について

東京2020大会警備JVとの個別契約締結

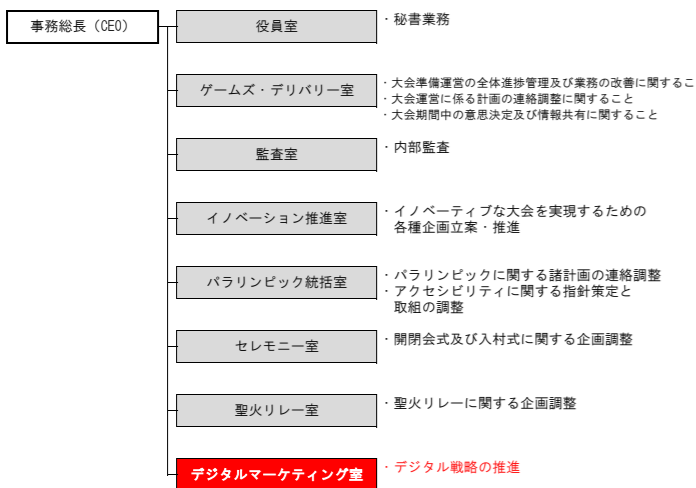
資料1-2 大会会場における音響・映像機器サービスの調達について

資料1-3 仮設電源サービスの契約金額の変更について

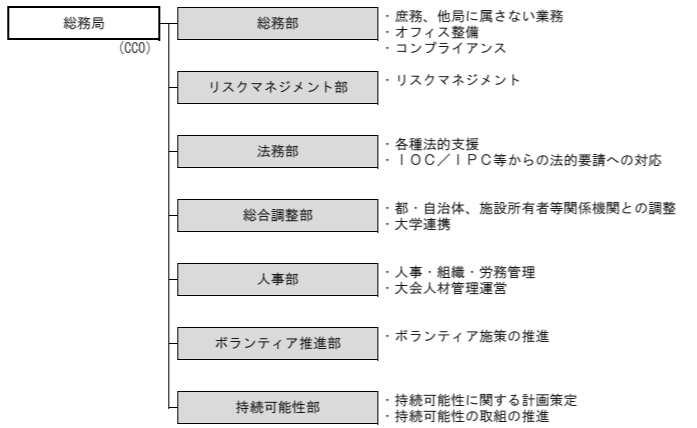
役員・特別職



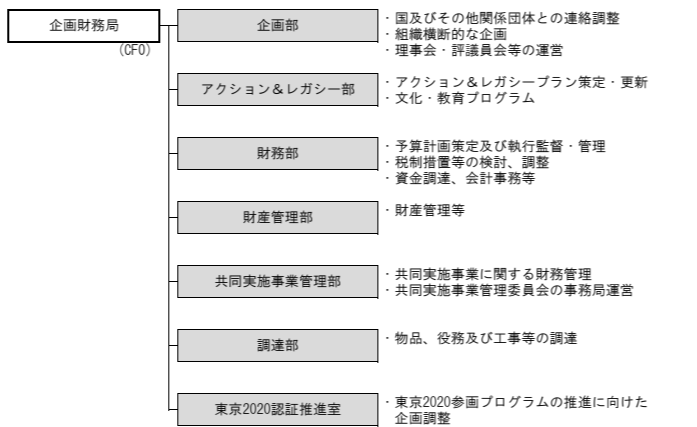
事務総長直轄補佐機関



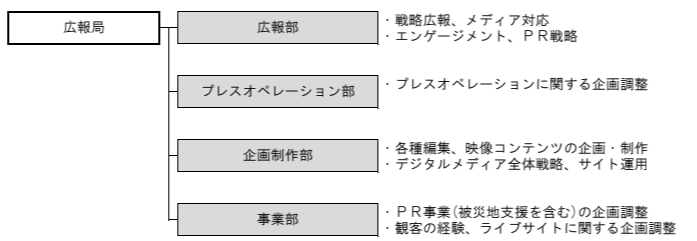
総務局



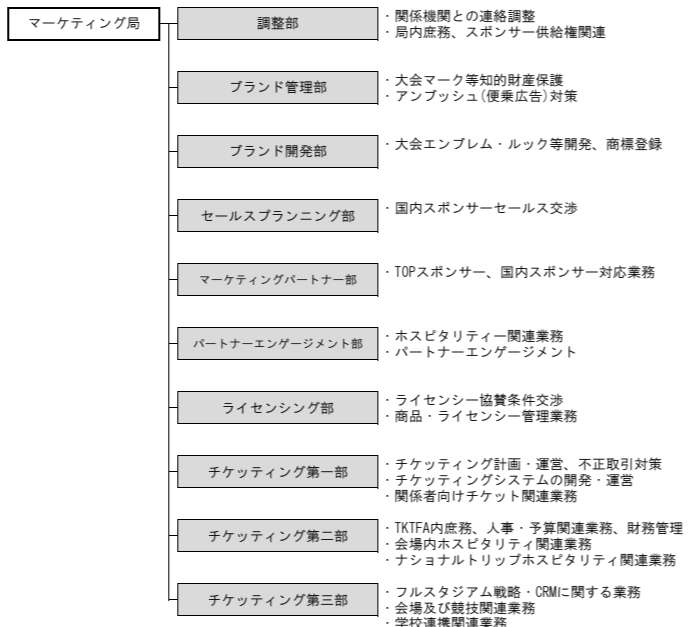
企画財務局



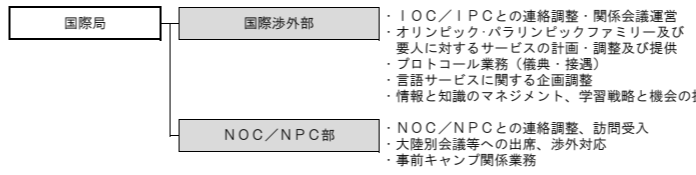
広報局



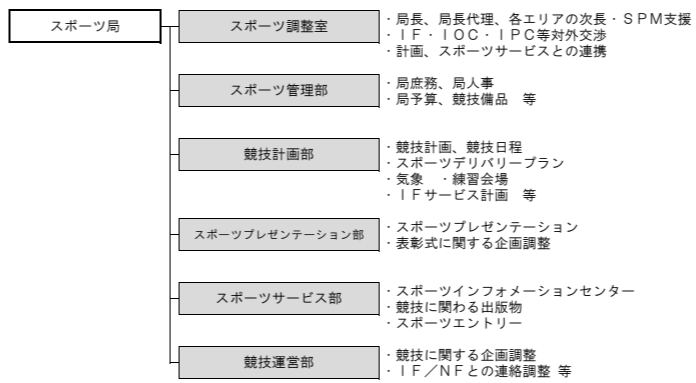
マーケティング局



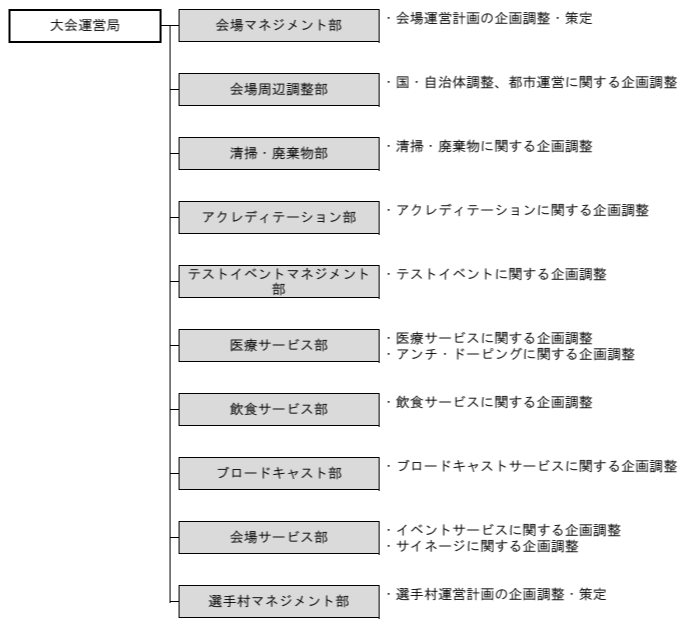
国際局



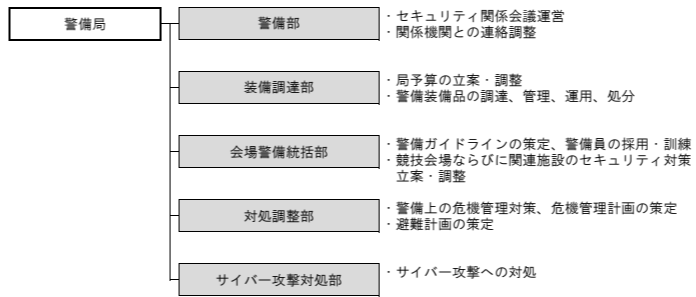
スポーツ局



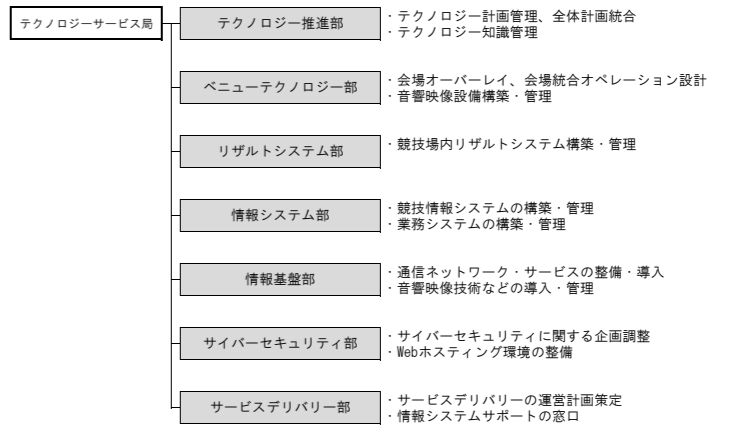
大会運営局



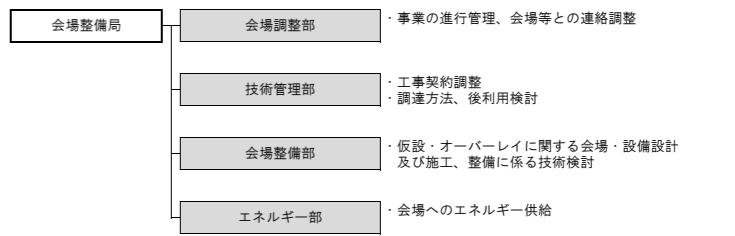
警備局



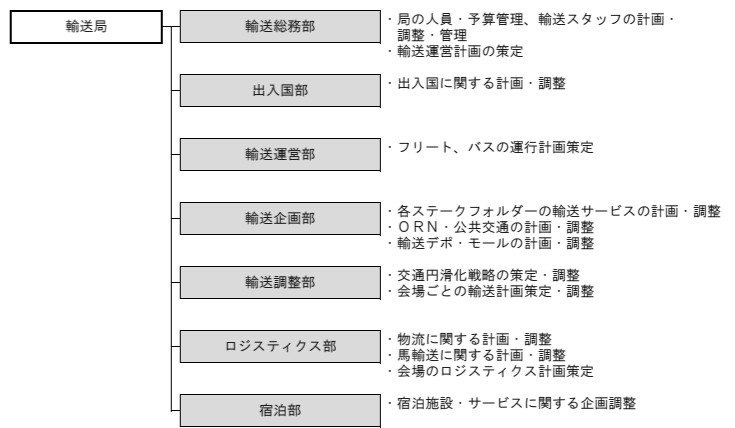
テクノロジーサービス局



会場整備局



輸送局





## 大会会場における音響・映像機器および関連サービスの調達について

2019年9月24日

### 1. 審議事項

大会時に各会場で使用するスピーカー・マイクなど音響機器の提供、大型映像装置・プロジェクター・カメラなど映像機器の提供、さらにそれらに付随する設置・運用サービスを含めた「大会会場における音響・映像機器および関連サービスの調達」について、トップパートナーであるPanasonic社と契約締結することを審議いただきたい。

## 2. 背景

- ✓ 大会時に各会場で使用する音響・映像機器については、既設の会場機器の利用可否の判断や、追加で必要な設備設計などを行うために、トップパートナーであるPanasonic社に会場実地調査を、2017年および2018年に委託・実施してきた。
- ✓ さらに並行して実施してきた、IF・OBSなどステークホルダーや関連FAとの調整結果を受けて、調達内容が固まってきた。
- ✓ 一方で、Panasonic社でも大会時に必要となる大量の機器・要員を確保するためには、本年10月末をめどに契約締結する必要がある。

TOKYO 2020

## 3. 実施内容

**対象機器**：大型映像表示装置（ビデオボード、プロジェクター）、ビデオシステム（カメラ、コントロールシステム）、観客向け音響システム、競技運営・記者会見などのAVシステム

注）開閉会式用の演出機器は今回は含まず

**対象会場**：全競技会場、選手村、IBC、MPC

**サービス内容**：上記機材・システムの設置・運用・保守・撤去



ビデオボード



プロジェクター



SPP用カメラ



コントロールシステム



ビデオリプレイシステム



記者会見用システム



観客向けスピーカー

TOKYO 2020

## 4. 契約先および契約期間

- 契約先 パナソニック株式会社  
(音響・映像機器トップパートナー)
- 予定調達方式 特別契約
- 予定契約期間 2019年10月～2020年10月  
(倉庫への搬入から搬出までを想定)



# 仮設電源サービスの契約金額の変更について

2019年9月24日

## 1. 審議事項

既に契約している仮設電源サービスについて、詳細設計を実施した結果、増額変更する必要が生じたため了承を得たい。

(契約内容)

- 件名： 仮設電源サービス契約
- 受注者： アグレコイイベントサービスジャパン株式会社  
(東京2020オフィシャルサポーター Tier3)
- 内容： 全会場における仮設電源の詳細設計から設置、  
運用と維持管理、撤去
- 契約日： 2018年12月13日

## 2. 変更理由

- 仮設電源サービス契約は詳細設計完了時の数量に応じて、契約金額を変更する契約となっている。
- 契約締結後（契約日：2018年12月13日）に、詳細設計を実施した結果、無線基地局、冷蔵コンテナ、スポーツ演出機器などで、新たに増設する必要が生じたことから、当初想定よりもケーブル数量等が増加したため、契約金額を増額変更する必要が生じた。
- 調達先であるアグレコ社の予定では、海外調達、海上輸送を計画していることから、今回、必要な機器を用意するためには、早急に契約変更を行なわなければならない。





# TOKYO 2020

東京2020 第34回理事会 資料

## 報告事項

---

- 資料2-1 パラリンピック/第1次抽選販売の状況について
- 資料2-2 大会ボランティアプログラムの進捗状況
- 資料2-3 テストイベントの実施状況について
- 資料2-4 競技会場の運営（イベント事業者の活用）について
- 資料2-5 交通マネジメントの推進に向けた2019年夏の試行で得られた知見と今後の展開
- 資料2-6 仮設オーバーレイ整備の契約状況





## パラリンピック／第1次抽選販売の状況について

2019年9月24日

### パラリンピック抽選申込受付の状況

8月22日～9月9日に抽選申込受付を行い、10月2日に抽選結果発表予定です。

#### ① スケジュール

8/22～9/9 抽選申込受付  
10/2 抽選結果発表  
10/2～10/15 購入手続期間

#### ② TOKYO 2020 ID登録数

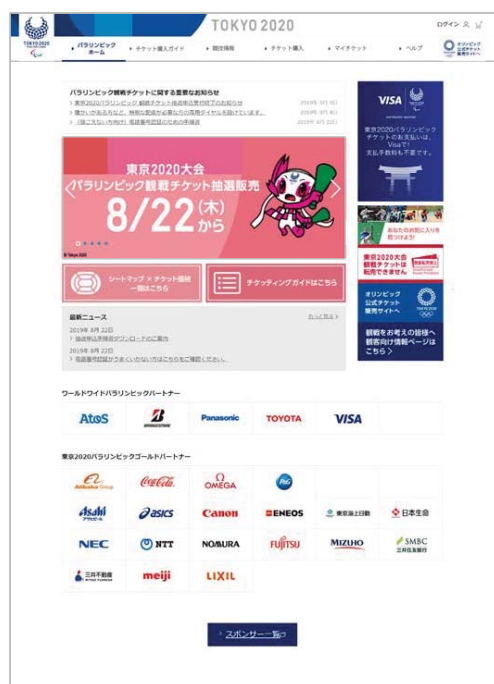
9/9 申込受付終了日時点

**7,701,071**件

#### ③ 申込受付期間中の 公式チケット販売サイトへのアクセス状況

9/9 申込受付終了時点

約**135万**アクセス



# 今後のチケットの販売スケジュール

## 【オリンピック】

2019年8月～ 第1次抽選の追加抽選販売  
(※購入手続期間中)

2019年秋以降～ 第2次抽選販売

2020年春以降～ 春期販売  
街なかのチケット販売所  
公式リセールサービス開始

## 【パラリンピック】

2020年初め～ 第2次抽選販売

2020年春以降～ 春期販売  
街なかのチケット販売所  
公式リセールサービス開始



## 大会ボランティアプログラムの進捗状況

2019年9月24日

### 大会ボランティアプログラムの進捗状況

#### 全体スケジュール

2018年	9月～12月	応募期間
2019年	2月～7月	オリエンテーション
	9月12日～	マッチングが成立しなかった方への連絡
	9月17日	共通研修の案内送付
	10月～	共通研修
2020年	3月～	役割・会場の通知
	4月～	役割別研修・リーダーシップ研修
	5月～	ユニフォーム配布
	6月～	会場別研修

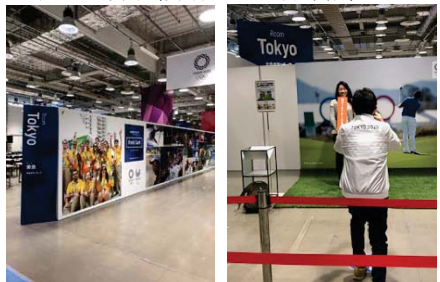
## 大会ボランティアプログラムの進捗状況

### オリエンテーション：

2月～7月、全国12か所、合計514回実施



楽しむる装飾（装飾協力：日本財団様）



（キャノン様協力） フォトスポット



チームアクティビティ後、みんなで撮影！



面談終了後、笑顔で握手！

TOKYO 2020

## 大会ボランティアプログラムの進捗状況

### マッチングが成立しなかった方：約12万人

#### (1) 対象人数

募集人数・・・ 80,000人

応募者数・・・ 204,680人 <約120,000人がマッチング不成立>

#### (2) 連絡方法・時期・・・ 9月12日からメール及びマイページにてお知らせ

- ① メール文面で最大限の感謝を示す  
「ボランティア検討委員会」での意見を参考（7月、8月開催）
- ② 様々な「コンテンツ」や「情報」を提供
  - アスリートからのメッセージ動画
  - 携帯用待ち受け画面／スタンプ画面
  - オリンピック・パラリンピックに関連するボランティア活動情報

TOKYO 2020

# 共通研修に参加される方：約 8 万人

- (1) 男女比・・・男性 39%、女性 61%
- (2) 年代・・・10代～80代まで幅広く参加予定
- (3) 国籍・・・日本国籍 88%、日本国籍以外 12%  
約 120カ国の方が参加予定
- (4) 参加希望日数・・・11日以上の参加希望の方が 62%
- (5) 連絡方法・時期・・・9月17日からメール及びマイページにてお知らせ

TOKYO 2020

# 共通研修の概要

1. 目的  
大会本番に必要な知識・スキルを習得するとともに、フィールドキャストの一員としてのマインドを醸成
2. 概要  
共通研修は、日本財団様の全面協力のもと、「集合研修」と「eラーニング」の2つで構成  
eラーニングでは「オリンピック・パラリンピックの歴史・意義」や「ホスピタリティの基本・サポート方法」等を動画で解説
3. 集合研修の実施時期/場所  
2019年10月～2020年2月（海外在住者向けは2020年6月以降）  
東京・北海道・宮城・福島・茨城・富山・静岡・愛知・大阪・広島・福岡

TOKYO 2020



# テストイベントの実施状況について

2019年9月24日

## テストイベント概要報告

- テストイベント全56回のうち、21回が終了  
※9/24現在、2018年実施2回分を含む。
- これまでのテストイベントにおいて、本大会に向けて学びとなる事例はあったものの、MOC（メインオペレーションセンター）で判断を要するようなレベルの問題は発生していない。
- 競技運営は、既存・新設会場とも各競技概ね円滑に実施されており、IFからの評価も概ね良好

# テストイベントで発生した主な事例

---

## <運営上の全般的な事例>

- ・選手・観客のみならず、スタッフの暑さ対策が必要
- ・選手とメディア動線が重なっているなど適切な動線計画の検討が必要

## <施設、仮設、FOPに関する事例>

- ・会場構造の複雑さによる動線案内方法の検討が必要（ウエイトリフティング）
- ・FOPにおける水質の一時的な悪化（トライアスロン）

## <天候、環境による事例>

- ・ウミガメの産卵（サーフィン）
- ・強風・水温による競技時間の変更（ボート、マラソンスイミング）
- ・WBGT値、水質による競技内容の変更（トライアスロン）
- ・雷による競技の中断・台風接近に伴う対応（ゴルフ、空手、マラソン等）

---

TOKYO 2020

# テストイベント課題の認識・共有と解決

---

## <テストイベント課題の認識・共有>

- (1) テストイベント終了後  
直ちに課題を会場チーム内で共有
  - (2) テストイベント終了後約2週間程度  
関係者からの意見も集約し、改めて課題を会場チーム内で共有  
それぞれの課題を解決する主管FAを決める。
- ※ 他会場への共有  
他会場に共通する課題を類似した条件（水上競技、屋内競技、路上競技等）  
となる会場チームへ共有

## <テストイベント課題の解決>

テストイベントを通じて洗い出した課題を着実に解決し、本大会の成功につなげていく。

---

TOKYO 2020





## 競技会場の運営（イベント事業者の活用）について

2019年9月24日

### 1 概要及び目的

#### 概要

43競技会場の本大会時の運営及びその準備期間の業務について、テストイベントを受託しているイベント事業者を活用して、効率的かつ効果的に実施していく。

#### 目的

イベント事業者は、テストイベント実施計画策定を通じて、会場及び競技の特性について熟知をしている。その知見やノウハウを準備期間から大会時まで一貫性を持って活用してもらい、限られた時間とリソースの中で大会を成功させること。

## 2 イベント事業者を活用する業務

### 本大会に向けた計画策定支援（準備期間）

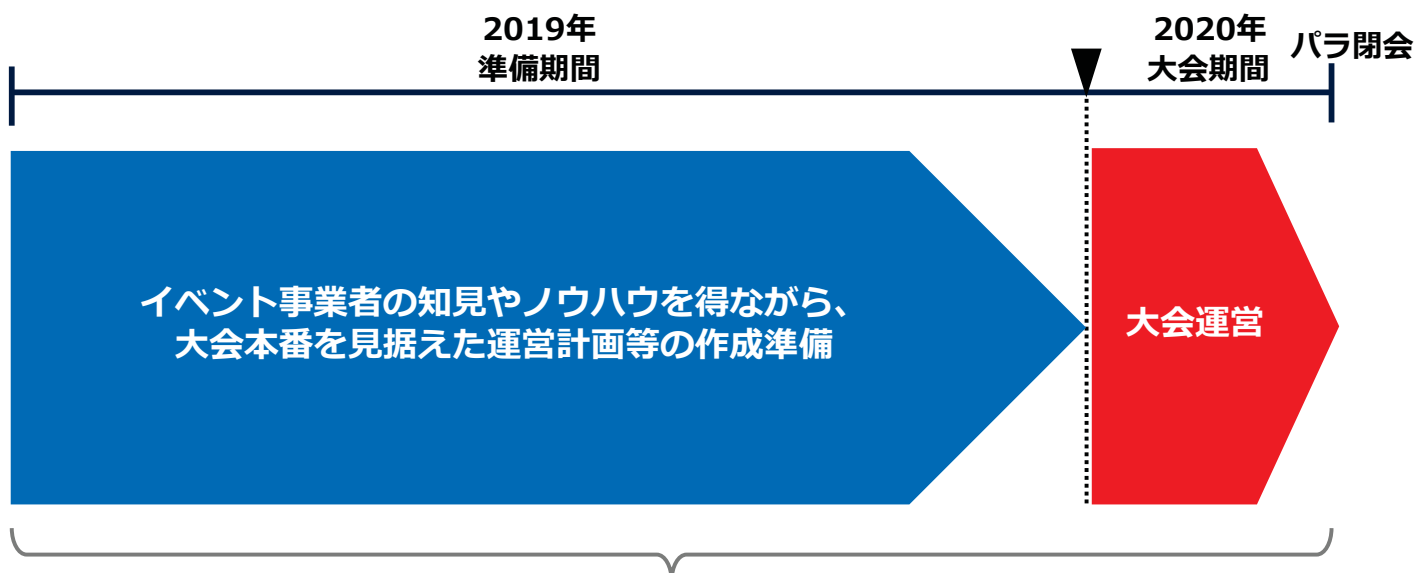
- 会場運営計画策定支援業務全般
- 関係者等との調整に関する助言
- 現場で活用する各種マニュアルの作成及びその他会場運営に必要な準備の支援全般 等

### 大会期間中の会場運営支援（大会期間）

- 会場運営統括責任者のサポート及び会場運営業務全般
- 会場運営全般に関する助言、サポート
- 観客サービス、誘導業務、記者対応・ミックスゾーン運営の支援 等

TOKYO 2020

## 3 業務の進め方



準備期間から大会本番まで一貫して、各会場のイベント事業者が大会運営に必要な業務支援を実施

※大会時は、組織委及び委託事業者それぞれの業務範囲、指揮命令系統の下、相互に情報連携をして運営する。

TOKYO 2020



# 交通マネジメントの推進に向けた2019年夏の 試行で得られた知見と今後の展開

2019年9月24日

## 試行の概要

### <試行の主な内容>

#### TDMに関する試行

企業等への働きかけ  
(東京圏、重点取組地区、特定エリア等)

政府・都庁の取組 等

#### TSMに関する試行

高速道路の本線料金所流入調整、  
入口閉鎖

一般道路の交通対策 (信号調整)

### ○道路交通

#### ・一般交通

東京圏の広域における一般交通について、大会前の交通量の一律10%減を目指す。

特に重点取組地区については、出入りする交通量の30%減を目指す。

#### ・首都高速道路における交通量の更なる減

首都高速道路については、交通量を最大30%減とすることで、休日並みの良好な交通環境を目指す。

2019年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15	試行期間(スムーズBiz推進期間)				20
21	チャレンジウィーク(7/22~26)、コア日(7/24)					27
28	集中取組期間①(7/22~8/2)					3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	集中取組期間②(8/19~8/30)					24
25						31
9/1	2	3	4	5	6	7

# 得られた知見と今後の展開

## 結果・得られた知見

### 【TDM（道路・鉄道）】

#### ①道路交通、鉄道交通ともに減少

- ・道路交通は一定程度減少。一方、首都高の交通量は一般道と比較して減りづらい傾向。目標達成に向けては更なる交通量減少が必要
- ・鉄道もピーク時を中心に利用者が減少

#### ②大会本番に向け、更に多くの企業・個人

取組が必要

など

### 【TSM】

#### ①交通規制により、大会輸送の円滑性を一定程度確保可能

#### ②レーン数を制限した高速料金所や入口閉鎖、都心への流入制限を行った一般道で渋滞が発生

#### ③TSMを機能させるには十分な交通量低減が必要

など

## 今後の展開

### 【TDM（道路・鉄道）】

- ◆入念な事前準備による更なる交通量低減
- ◆スムーズビズの戦略的な広報の拡充
- ◆観客の分散などの施策の実施（鉄道）
- ◆顧客との物流に関わる調整など

### 【TSM】

- ◆運用の最適化
- ◆規制に関する情報提供の充実など

### 【追加対策】

- ◆需要増、今回と比べ長期間を見据え、首都高の流動確保のための対応が必要

東京都が「東京2020大会における首都高速道路の料金施策に関する方針（案）」について、8月27日にパブリックコメントを開始

### 主な内容（案）：

- ・ETC搭載のマイカー等を対象に、6～22時に都内区間で1,000円を上乗せ
  - ・夜間は全車種を対象に5割引（ETC搭載車両）
  - ・適用期間は、2020年7月20日～8月10日と8月25日～9月6日
- など



## 仮設オーバーレイ整備の契約状況

2019年9月24日

### 1 発注の経緯

- 昨年3月の理事会において、仮設オーバーレイ発注の方針（発注方法やスケジュール等）について決議
- 全43会場が調達手続着手済
- 41会場が契約締結済み（2019年8月末時点）

合計	調達 手続 着手済	契約 締結済	契約 手続中	価格 交渉中	見積 依頼中
43	43	41	1	1	0

## 2 仮設オーバーレイ工事契約実績（41会場）

	会場名	契約金額（税込）	契約相手方
1	有明アリーナ	約23.7億円	大和ハウス工業株式会社
2	有明体操競技場	約10.0億円	
3	有明テニスの森	約49.9億円	
4	大井ホッケー競技場	約44.2億円	大和ハウス工業株式会社
5	海の森クロスカントリーコース	約15.6億円	
6	海の森水上競技場	約42.9億円	
7	カヌー・スラロームセンター	約25.7億円	
8	夢の島公園アーチェリー場	約36.4億円	ピコ・日本建設共同企業体
9	さいたまスーパーアリーナ	約11.9億円	2020仮設オーバーレイ（その4） 整備事業共同企業体 （電通ライブ・ムラヤマ）
10	茨城カシマスタジアム	約12.9億円	
11	埼玉スタジアム2002	約18.1億円	
12	横浜国際総合競技場	約12.5億円	
13	幕張メッセ（Aホール）	約33.0億円	株式会社乃村工藝社
14	幕張メッセ（Bホール）	約23.7億円	
15	幕張メッセ（Cホール）	約7.5億円	

TOKYO 2020

## 2 仮設オーバーレイ工事契約実績（41会場）

	会場名	契約金額（税込）	契約相手方	
16	陸上自衛隊朝霞訓練場	約57.8億円	NES Overlay Ltd （ES Global Ltd、株式会社イーエスエス ジャパン、株式会社日本ステージ、株式会社 シマ）	
17	霞ヶ関カンツリー倶楽部	約29.9億円		
18	東京アクアティクスセンター	約64.5億円	株式会社大林組	
19	東京辰巳国際水泳場	約27.5億円		
20	横浜スタジアム	約21.2億円	清水建設株式会社	
21	馬事公苑	約114.2億円	大成建設株式会社	
22	オリンピックスタジアム	内部	約32.0億円	大成建設株式会社
		周辺の神宮外苑地区	約30.8億円	株式会社電通ライブ
23	東京体育館	約11.7億円		
24	皇居外苑	約14.3億円		
25	日本武道館	約18.3億円	株式会社竹中工務店	
26	国立代々木競技場	約21.8億円	株式会社乃村工藝社	
27	お台場海浜公園	約23.6億円	大和リース・TSP太陽 特定建設工事共同企業体	
28	潮風公園	約40.4億円		
29	有明アーバンスポーツパーク	約37.0億円	大和リース・TSP太陽 特定建設工事共同企業体	

TOKYO 2020

## 2 仮設オーバーレイ工事契約実績（41会場）

	会場名		契約金額（税込）	契約相手方
30	釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ		約26.7億円	前田・GLイベント 仮設オーバーレイ整備業務共同企業体
31	江の島ヨットハーバー		約19.3億円	TSP太陽株式会社
32	武蔵野の森総合スポーツプラザ		約10.4億円	大和ハウス工業株式会社
33	東京スタジアム		約28.7億円	
34	武蔵野の森公園		約3.5億円	
35	青海アーバンスポーツパーク		約26.4億円	TSP太陽・大和リース 特定建設工事共同企業体
36	福島あづま球場		約18.5億円	株式会社奥村組
37	札幌ドーム		約13.4億円	大成建設株式会社
38	宮城スタジアム		約12.8億円	大和リース・橋本店 特定建設工事共同企業体
39	伊豆ベロドローム	整備工事	約23.9億円	清水建設株式会社
		仮設建築物 (伊豆MTBコースと共用)	約23.8億円	大和リース株式会社
40	伊豆MTBコース	整備工事	約6.3億円	株式会社NIPPO
		コース周辺整備	約4.6億円	東亜道路工業株式会社
41	東京国際フォーラム		約37.3億円	戸田建設株式会社
合計			約1,168.6億円	

TOKYO 2020



## 恒設等工事の整備スケジュール

2019年8月末時点

会場名	建設主体	竣工時期
オリンピックスタジアム	日本スポーツ振興センター	2019年11月
武蔵野の森総合スポーツプラザ	東京都	2017年5月
有明アリーナ	東京都	2019年12月
有明体操競技場	東京2020大会組織委員会	2019年10月
大井ホッケー競技場	東京都	2019年6月
海の森水上競技場	東京都	2019年5月
カヌー・スラロームセンター	東京都	2019年5月 (管理棟 2019年12月)
夢の島公園アーチェリー場	東京都	2019年2月
東京アクアティクスセンター	東京都	2020年2月



# TOKYO 2020

東京2020 第34回理事会 資料

## 配付資料

---

資料3-1 顧問の変更

資料3-2 「東京2020復興のモニュメント」  
被災三県でのワークショップ実施報告

資料3-3 パラリンピック1年前  
カウントダウンセレモニーについて



## 顧問の変更

2019年9月24日

### 顧問

新	所属先役職等	旧
山東 昭子	参議院議長	伊達 忠一
川鍋 一郎	一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会会長	富田 昌孝
長谷山 彰	一般社団法人日本私立大学連盟会長	鎌田 薫
大野 元裕	埼玉県知事	上田 清司
飯泉 嘉門	全国知事会会長	上田 清司



# 「東京2020 復興のモニュメント」 被災三県でのワークショップ実施報告

2019年9月24日

## ワークショップ概要

目的：被災地の中高生がモニュメントの制作に関与することで、  
自分たちが作ったモニュメントとして親しみを持ってもらう  
被災地の中高生たちの東京2020大会への関心を高め、大会開催の機運醸成を図る

〈実施概要〉

	岩手県	宮城県	福島県
日時	2019年8月22日（木） 9:00-15:20	2019年8月20日（火） 9:00-16:30	2019年8月19日（月） 9:00-16:30
会場	岩手県立大槌高校	宮城県気仙沼向洋高校	福島県立安積黎明高校
参加人数	90名	84名	86名
主宰	東京藝術大学美術学部教授 赤沼 潔		
ファシリテーター	東京藝術大学美術学部学生 13名		



## 決定したデザイン

岩手県、宮城県



デザイン制作者：東京藝術大学  
福井汐音

テーマ：美しくカットされた宝石がモチーフ

福島県



デザイン制作者：東京藝術大学  
岡つくし

テーマ：顔はめオブジェ

## 今後のプロセス

- ワークショップで決定したデザインイメージ及び中高生が作成したメッセージをもとに、東京藝術大学の学生が再生アルミを材料に各県1体、計3体のモニュメントを制作
- 大会期間中、都内の大会関連施設等にモニュメントを設置
- 大会後は、被災地においてレガシーとして継承



# 東京2020パラリンピック 1年前カウントダウンセレモニー・ 1年前カウントダウンイベント

## 東京2020パラリンピック 1年前カウントダウンセレモニー



名称	東京2020パラリンピック1年前カウントダウンセレモニー
主催	東京2020組織委員会、東京都
共催	NHK
後援	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、渋谷区
開催場所	NHKホール
日時	2019年8月25日（日）16:30～18:00
来場者数	2,000名 ※招待制
登壇者	森喜朗東京2020組織委員会会長、小池百合子都知事、菅義偉内閣官房長官、ドゥエーン・ケールIPC副会長、鳥原光憲JPC会長、マルクス・レーム選手、国枝慎吾選手、上地結衣選手





コンテンツ  
ゲスト

- ソメイティ競技アニメーション（ソメイティ）
- オープニングパフォーマンス（マルクス・レーム選手、KREVAさん、杉村英孝選手、廣瀬隆喜選手）
- ジャパンパラリンピックデー宣言（鳥原光憲JPC会長、国枝慎吾選手、上地結衣選手）
- 聖火リレーPR&ランナーユニフォーム発表（田口亜希さん、石原さとみさん、サンドウィッチマンさん）
- メダル発表（宮田亮平座長、高橋尚子さん、河合純一さん、メダルデザイナー松本早紀子さん、マルクス・レーム選手、国枝慎吾選手、上地結衣選手）
- クロージングパフォーマンス（チコちゃん、田口亜希さん、石原さとみさん、サンドウィッチマンさん、国枝慎吾選手、上地結衣選手、椎名林檎さん、Mummy-Dさん（RHYMESTER）、ダンサー峰尾紗季さん、鎗田雄大さん）

司会者 NHKアナウンサー 中野淳、保里小百合

メディア数 ムービー：20台 スチール：41人 ペン：66人



TOKYO 2020



名称 東京2020パラリンピック1年前カウントダウンイベント  
～みんなのスポーツ×ファンフェスティバル～

主催 東京2020組織委員会、東京都

後援 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、渋谷区

開催場所 代々木公園サッカー・ホッケー場、陸上競技場（織田フィールド）

日時 2019年8月25日（日）11:00～17:00

来場者数 10,000名



TOKYO 2020



コンテンツ  
ゲスト

【陸上競技デモ・体験】

- 走り幅跳び『ワールドレコードチャレンジ - ロングジャンプ』 supported by meiji (マルクス・レーム選手、MC武井壮さん)
- 100m走『ワールドアスリートチャレンジ - 100mスプリント』 supported by meiji (井谷俊介選手、吉田知樹選手、ダービット・ベアレ選手、武井壮さん)
- ランニング『ランニングクリニック』(山本篤選手、兔澤朋美選手、吉田知樹選手)

【車いすテニスデモ・体験】日本車いすテニス協会

- 『1年前イベント・スペシャルマッチ』 (国枝慎吾選手、上地結衣選手、小島よしおさん、ガリベンズ矢野さん)
- 『車いすテニス体験』(新しい地図：稲垣吾郎さん、草薨剛さん、香取慎吾さん)

【ボッチャデモ・体験】日本ボッチャ協会

- 『ボッチャチャレンジ』 supported by meiji (廣瀬隆喜選手、杉村英孝選手、AKB48 チーム8：岡部麟さん、吉川七瀬さん、大西桃香さん)
- 『ボッチャアカデミー』 supported by meiji (森喜朗会長、遠藤利明会長代行、菅義偉官房長官、ドウエーン・ケール副会長、廣瀬隆喜選手、杉村英孝選手) 他

パートナー12社、2020組織委員会 (公式ライセンスグッズ販売、チケットID登録促進、パラリンピック聖火リレータッチ展示)、東京都 (NO LIMITS CHALLENGE、22種競技パネル展示)

ブース  
出展など

メディア数

ムービー：25台 スチール：51人 ペン：65人

掲出状況

テレビ 33件、新聞 203件 (地方紙含む)、国内Web 593件、  
海外Web 200件 (9月2日現在)  
※セレモニー及びイベントの合計件数



TOKYO 2020



パラリンピック1年前スペシャル!  
TOKYO 2020  
Let's 55  
with つながる 墨田区



名称	東京2020 Let's 55 with すみだ パラリンピック1年前スペシャル!
主催	東京2020組織委員会
共催	墨田区
開催場所/日時	墨田区総合体育館及び錦糸公園テニスコート 2019年8月24日 (土) 10:00~17:00
出展企業 競技団体	マーケティングパートナー18社、関係競技団体2団体
実施競技数	15競技
来場者数	来場者数：4,023名 延べ競技体験者数：5,801名
掲出数	テレビ：5番組 WEB媒体：13社

TOKYO 2020